も多く、これに、空き店 壁にトタンを貼った店舗 この火災は、8月3日午 後4時50分ごろ、域内の

造市場はシャッター街化 う古い木造市場で大規模 明石市の大蔵市場とい 6時間半後にほぼ消し止 められ、死傷者はいなか 大蔵市場は、山陽電鉄 ターが加わり、 舗の間口をふさぐシャッ

金属製の

防火上の問題を考えてみ 性を抱えている。今回は、 いまって、潜在的な危険 防火上脆弱な構造ともあ しているところも多く、 店分に区画され、ほとん なったそれぞれ3棟が33 造られ、通りの両側に連 にも近い。昭和3年頃に の住宅密集地にあり、海 大蔵谷駅の南西約3百m うに見えるが、火災は連 ていた。このような形状 トンネル状の空間ができ 接する建物間で直接延焼 だと一見延焼しにくいよ

> 舗ばかりということはな 大蔵市場と違って空き店 ものだ。築地場外市場は 7棟9百㎡余が全焼した ラーメン店から出火し、 気使用室の内装制限の主 原因としては古典的なも だ。木造飲食店等の出火 ある時何かのきっかけで ので、建築基準法では火 発火に至る、というもの 大規模な木造市場の火災 成26年、同千6百㎡)な 5百㎡)、八幡東区八幡中 ど、過去10年間に6件の 区魚町商店街の火災(平 25年、同7百㎡)、小倉北 央区商店街の火災(平成 ㎡)、若松区あやどり市場 の火災(平成24年、同千 8百㎡)、同区富野市場の 火災(平成23年、同3千

時は従業員が少なくなる 焼状況といい、昭和30年 する店が多いため、出火 かったが、早朝から営業 いい、木造密集地域の延 なっている。出火原因と 要なターゲットの一つと い木造市場が火災にな シャッター街と化した古 が起きている。いずれも、

(平成18年、焼損面積千 年12月の糸井川市の大規 9千㎡が全焼している。 市街地が燃えたものだ。 模火災も、古い木造密集 木造市場ではないが、昨 辺の建物を合わせて31棟

つようになったのか

と位置付けられており、 で、駆逐されるべきもの 少して来た。 昭和30年以降の日本の経

るに従って少なくなって り、消防体制が整備され モルタル造に徐々に変わ 物構造が裸木造から木造 は、昭和30年代までは全 何故この種の火災が目立 国で頻発していたが、建 物が密集する地域の火災 このような、木造建築

する一方、トンネル状の

八蔵市場の火災

火災は、10月25日午後

あおられて延焼した。結 火したと見られ、強風に 商店街の建物の中から出 3時45分ごろ、兵庫県明 大蔵市場」で発生した。 どは1階が店舗、2階は 店が営業し、10世帯23人 き店舗が増え、現在は9 だ。 が住んでいたということ 住居となっているが、空 にくいこともあって、か えている建物内部に届き 焼を助長し、金属板に覆 空間を風が吹き抜けて延 われているため放水が燃 えって延焼を早めた可能

家4棟も全焼し、12棟が 局、店舗兼住宅約3軒が 部焼損した。火災は約 商店街に隣接する民 覆われ、雨よけのため外 ン屋根でアーケード状に く、消防活動を妨げた。 大蔵市場は、通路はトタ 住宅密集地で狭い道が多 周辺は古い建物が残る 築地場外市場の火災だ。 憶に新しいのは、8月の 性がある。 この種の火災として記

航し、鎮火まで15時間以 時間帯だった。木造建物 が密集していて消火が難 プして来たような火災だ 火できず、木造が密集し

上かかった。 と見られている。「伝導加 熱」というのは、調理場 出火原因は「伝導過熱」 ば、北九州市が知られて いる。北九州市の小倉北 木造市場の火災と言え

後方の壁に伝導し、壁の その熱が長期にわたって 木材が次第に炭化して、 のように始終コンロなど を使っているところで、 幡東区中央商店街の火災 ったため、戦前からの古 区などは空襲に遭わなか おり、近年になって大規 い木造市場が多く残って 模な火災が相次いだ。八

おり、中央レンバイと周

代の火災がタイムスリッり、人が少なくて初期消 ったため燃え拡がったも など消防活動困難地域だ には北海道稚内市の小売 細い道路に屋根がかかる 火災と極似している。 ので、明石市大蔵市場の 少し古いが、平成14年

ど消防力が十分機能しな いた。阪神淡路大震災な い時には数万 ㎡ 以上燃

える火災が起こるが、平 時には「数百㎡燃えれば だろうか?……その可能 が変わった、ということ 大火災」というのが近年 の状況だった。その状況

なって積極的に行われ りながら、行政が中心に る地域では土地区画整理 かしながら様々な制度を り、経済発展の果実を生 して改善が進められた。 適用し、直接税金を投入 業などにより、税金の投 地域では市街地再開発事 経済発展が直接見込める どのポテンシャルが高く ばなかった地域では、住 入を本来事業である道路 事業などにより、商業な は、経済発展が及んでい 自然に建て変わるのを待 整備や公園整備などに限 済発展に従って着実に減 つだけでなく、行政によ 宅地区改良事業、住宅市 街地総合整備事業などを た。また、経済発展が及 木造密集市街地の改造

る。

市場「中央レンバイ」で 性はあるかも知れない。

も同様の火災が発生して 木造建物密集地域は、

都市計画法や建築基準法 る。やがて、低成長、高 に乗り遅れた地域もあ た地域も多いということ 駆使して整備が促進され だが、このような整備

た。いまや、取り残され 到来し、行政による市街 齢化、人口減少の時代が

しい。結局、ワンブロッ がなく、消防隊が活動す 地に向かって突き進んで 街化すると、初期消火の ク全焼、ということにな 延焼を食い止めるのは難 め、初期消火できないと るための道路も狭いた のかなりの地域で起こっ いる、というのが、全国 えは極めて困難になり、 ってしまう。シャッター 焼防止のための防火区画 ていることではなかろう し、空き地だらけの市街 朽化、空き家化、取り壊 取り残された地域は、老 た木造密集地域の建て替 木造密集市街地は、延 高めて防ごうという戦略 危険を、初期消火能力を 消防が中心になって積極 消火装置の設置と無線連 水道ホース直結型の簡易 のだ。木造市場等の火災 的に行っていくというも 設備の点検や訓練なども 対策モデル事業」という で、当面の手段としては 事業を始めている。市が 原因ではなかろうか。 災が目立つようになった 活動も難しい。それが、 行うとともに、火気使用 貸与・設置・維持管理を モデル地区を指定して ら「木造市場等防火安全 九州市では、平成25年か 動型住宅用火災警報器の 解決は難しそうだが、北 今となっては根本的な

とは普通の商店街より難 アーケードがあったりし ための住民もいなくな しく、延焼しやすく消防 別に建て変わっていくこ の屋根がかかっていたり て一体性が高いため、個 特に木造市場は、共通 って対応していくしかな り期待できない時代にど もある。経済発展にあま いのかもしれない。 か。各地の知恵を持ち寄 災が起こってくる可能性 、蔵市場火災のような火 今後、各地で明石市の